

2020年度 劇団文化座入団試験要項

<劇団紹介>

1942年2月、井上正夫演劇道場のメンバーであった演出家・故佐佐木隆、女優・故鈴木光枝らによって結成。1945年、日本の現代演劇を紹介する目的で、中国東北部に渡り移動演劇を行い、そこで敗戦を迎えた。その後1年間、中国大陸での抑留を強いられた。

創立期には劇作家・三好十郎との深いむすびつきによって三好作品を連続上演し、戦時下の厳しい条件のもとで演劇の良心の灯をともし続けた。以来「炎の人—ゴッホ小伝」「おりき」(作=三好十郎)、「荷車の歌」(原作=山代巴)、「土」(原作=長塚節)、「サンダカン八番娼館」(原作=山崎朋子)など、底辺に生きる人々に光を当てた作品の上演を続ける。

またその一方、絶えず新たな題材、舞台表現にも挑戦している。盲目の女旅芸人の生き方を通して日本社会の特質を見つめた「警女さ、きてくんない」、浅田次郎のベストセラーを舞台化した、現代人の愛と勇気と再生の物語「天国までの百マイル」、戦争と芸術をテーマに戦時下の芸術家たちの青春を描いた「眼のある風景」、動乱の明治期を背景にしたエンターテインメント時代絵巻「てくれっつのは」、沖縄戦時下でのアイヌ兵と沖縄兵の出会いに材を得た「銀の滴降る降るまわりに」など充実した作品を生み出している。

「てくれっつのは」は平成20年度文化庁芸術祭大賞を受賞し、全国公演を果たした。

2017年に創立75周年を迎え、近年では「三婆」が全国公演216ステージを展開。

2018年には第53回紀伊國屋演劇賞団体賞を受賞している。

(「夢たち」「反応工程」「太陽の棘」の優れた舞台成果に対して。)

○劇団代表 佐々木愛

○団員数 演技部52名、演出部2名、制作部4名

劇団文化座

〒114-0014 東京都北区田端3-22-12

TEL: 03-3828-2216

E-mail: info@bunkaza.com

お問合せなど、お気軽にどうぞ!

○募集内容 俳優(演技部) 男女若干名

○応募資格 高卒程度の学力を有する者(演技者養成機関を卒業した者優遇)

○応募方法 応募書類(2点)を郵送

1.履歴書

規定の履歴書をダウンロードし、記入、写真(バストショット)を添付

2.作文「私の演劇観」又は「文化座志望の理由」(800字まで)

○応募〆切 **2020年3月20日(金) 必着**

○審査方法 一次審査(書類審査)結果は全員に連絡します

二次審査 演技の基礎能力のテストと面接

日時: **2020年3月30日(月)** ※開始時間未定

○採用条件 合格者は劇団付き研究生として採用(半年間の見習い期間あり)

○備考 受験料なし、入団後の月謝などありません

○書類送付先 〒114-0014 東京都北区田端3-22-12 「劇団文化座・新人係」あて

○問合せ 劇団文化座(TEL: 03-3828-2216 E-mail: info@bunkaza.com)

メールの場合は、必ず件名に「劇団文化座新人募集について」と入れて下さい
(住所・連絡先を明記のこと!)



2018年 『反応工程』 作: 宮本研 演出: 米山実

<入団後の活動として…>

現在、若手俳優が東京新作公演、全国巡演に抜擢され活躍中。

又、実力を向上させるべく朗読教室や日舞教室、ボイストレーニング等、定期的に行っている。

若手の登用に積極的で、実績もあります。

「千羽鶴」(2009年上演)、「大つごもり」(2010年上演)は、

“次世代を担う演劇人育成公演”として大きな評価を受け、

若手だけの座組「One Thousand Cranes 千羽鶴」は全国公演を展開し、

海外公演(カナダ=3都市 7公演に続き、韓国公演)も経験した。

「GO」「イーハトーブの芝居小屋」「反応工程」「太陽の棘」など、常に

若手を抜擢し、その公演の評価は高い。



2015年『イーハトーブの芝居小屋』原作：宮沢賢治 演出：関谷幸雄

<主な出身>

文学座附属演劇研究所

青年座附属研究所

演劇集団円附属 円・演劇研究所

日本工学院専門学校

放送芸術&映画・俳優専門学校

<今後の主な公演予定>

・「アニマの海」

一石牟礼道子「苦海浄土」よりー

6月13日～6月23日

六本木 俳優座劇場

・「旅立つ家族」

7月15日～8月29日

全国演鑑連 九州

・「地にありて静かに」

10月17日～10月27日

両国 シアターX

・「銀の滴 降る降る まわりに

首里 1945」

11月25日～12月4日

全国演鑑連例会 四国ブロック



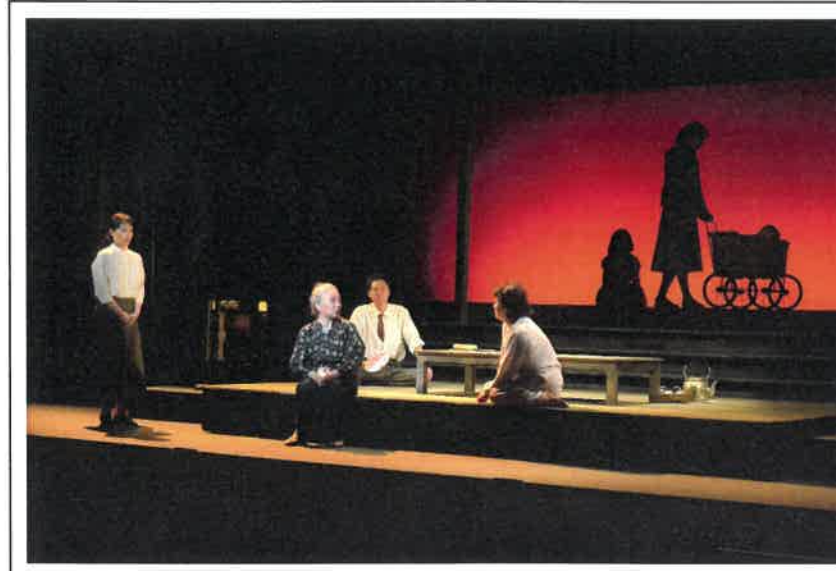
2016年『銀の滴…』作：杉浦久幸 演出：黒岩亮



2017年『命どう宝』作：杉浦久幸 演出：鶴山仁



2018年『夢たち』作：三好十郎 演出：松本祐子



2019年『アニマの海』作：杉浦久幸 演出：栗山民也

<近年入座劇団員の活動>

2015年入座

早苗翔太郎

「三婆」「GO」「イーハトーブの芝居小屋」「故郷」

「反応工程」「太陽の棘」

田中孝征

「三婆」「反応工程」「GO」「イーハトーブの芝居小屋」

「命どう宝」「故郷」「太陽の棘」「アニマの海」

柴田真佑

「命どう宝」「イーハトーブの芝居小屋」「故郷」

「反応工程」

2016年入座

上山裕子

「三つの宝」「アニマの海」

諏訪正美

「三つの宝」「旅立つ家族」

「夢たち」

松永佳子

「旅立つ家族」

2017年入座

若林築未

「三つの宝」

2019年10月『地にありて静かに』

2018年入座

岩崎正芳

「太陽の棘」初舞台

2019年10月『地にありて静かに』

大鳥鈴乃

「旅立つ家族」初舞台

2019年10月『地にありて静かに』

2019年入座

市川千紘「アニマの海」初舞台

2019年10月『地にありて静かに』

<初舞台！>

桑原 泰 『地にありて静かに』

仁平天峰 『地にありて静かに』

砂川直哉 『地にありて静かに』

深沢 樹 『地にありて静かに』

※入団をご検討の方はご招待いたしますので、劇団までご連絡ください (03-3828-2216) 原田

『地にありて静かに』

2019年10月17日～10月27日

両国シアターカイにて(時間はHPをご覧ください)